

研究課題名	尾側腓切除術における予防抗菌薬の至適期間の検証															
研究責任者名	和歌山県立医科大学 外科学第2講座 教授 川井 学															
研究期間	2022年 月(倫理委員会承認後) ~2024年8月31日															
対象者	2017年4月から2022年3月までの間に尾側腓切除術を施行した患者さん。															
意義・目的	尾側腓切除術において、予防抗菌薬の至適期間は明らかにされていません。この研究は、尾側腓切除術における予防抗菌薬の至適投与期間を明らかにすることを目的としています。これにより、尾側腓切除術における予防抗菌薬の適正使用と感染性合併症の軽減に寄与すると考えます。															
方法	<p>研究者が所属する消化器外科内の診療録等の過去の診療情報を用いて、専ら集計、簡単な統計処理を行う研究です。研究に用いるデータは、研究対象者の基本情報（年齢、性別）、画像診断情報（CT検査）、手術関連情報（術式、手術時間、出血量等）、術後合併症情報、病理組織および細胞診診断情報、術前術後療法の情報（化学療法、放射線療法等）、術前後の血液検査情報等です。</p> <p>データは本学および共同研究機関にて氏名などの個人が特定できる情報を削除し匿名化します。本学は共同研究機関より、匿名化したデータを記憶媒体（CD-ROM）にて受け取ります。データの解析は、共同研究機関のデータと併せて本学にて実施されます。解析方法として、患者背景因子、臨床病理学的因子、術後合併症の発症率等を算出し、予防抗菌薬の術当日投与された患者さんと術後48時間投与された患者さんとを比較してそれぞれの因子に統計学的に差を認めるかどうかを検証します。得られた情報を用いて、尾側腓切除術における予防抗菌薬の至適投与期間を明らかにします。</p>															
研究組織	<p>研究事務局 岡田 健司郎 広島大学病院 消化器外科 助教</p> <p>研究統括者（研究責任者） 上村 健一郎 広島大学大学院 医系科学研究科 外科学 准教授</p> <p>共同研究機関 研究責任者（研究機関の長）</p> <table border="0"> <tr> <td>関西医科大学</td> <td>外科学講座</td> <td>診療教授</td> <td>里井 壮平</td> <td>(松田 公志)</td> </tr> <tr> <td>富山大学</td> <td>消化器・腫瘍・総合外科</td> <td>教授</td> <td>藤井 努</td> <td>(林 篤志)</td> </tr> <tr> <td>和歌山県立医科大学</td> <td>外科学第2講座</td> <td>教授</td> <td>川井 学</td> <td>(中尾 直之)</td> </tr> </table>	関西医科大学	外科学講座	診療教授	里井 壮平	(松田 公志)	富山大学	消化器・腫瘍・総合外科	教授	藤井 努	(林 篤志)	和歌山県立医科大学	外科学第2講座	教授	川井 学	(中尾 直之)
関西医科大学	外科学講座	診療教授	里井 壮平	(松田 公志)												
富山大学	消化器・腫瘍・総合外科	教授	藤井 努	(林 篤志)												
和歌山県立医科大学	外科学第2講座	教授	川井 学	(中尾 直之)												
試料・情報の管理責任者	上村 健一郎 広島大学大学院 医系科学研究科 外科学 准教授															
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結															

果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811 番地 1

和歌山県立医科大学 外科学第 2 講座

外科学第 2 講座 本林秀規

外科学第 2 講座 吉村知紘

外科学第 2 講座 川井 学

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566